

身体を動かす楽しさを味わいながら 「わかった」「できた」を実感できる 体育授業の充実

大分県臼杵市立市浜小学校

全校児童数	439名(男子242名 女子197名)		
全クラス数	15	教職員数	35名
体育専科教員訪問学校数			2校
訪問校	臼杵小学校・海辺小学校		
体育専科教員名		安東 友美	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆体力運動能力調査の結果より

全国平均を下回る種目の強化。

→5.0m走、長座体前屈、シャトルラン、ボール投げ

◆学校評価の結果より

前年度「運動が好き」と答えた児童は84%

→運動への愛好度を高める。

肥満率が高い。

→生活習慣（外遊びや食生活）の改善。

2 取組の計画

(1)「わかった」「できた」が実感できる体育学習の充実

①つけたい力の明確化

②場や用具の工夫

(2)市全体に実践を広げる取り組み

①臼杵市体力向上会議を年4回行い、実践を広げる。

②訪問授業を通して、実践を広げていく。

③幼稚園において運動遊びを実践。

(3)体育的環境の充実

Do：実践内容

1 体育学習の充実

(1)つけたい力を明確化

①単元全体の流れの中で、1時間ごとのつけたい力（めあて）を明確にして授業を行った。

②1時間の流れや運動のポイントを位置づけ、何のための活動なのかを意識させるとともに、ワークシートで振り返る際の手立てとした。

(2)場や用具の工夫

①自他の動きを比べ、ポイントを見つける場や自分に合ったコーナーを選んで練習できる場を設定した。

②ペア・グループ活動の場では、見る視点をはっきりさせ、見合い教え合いを行った。

(3)運動量の確保

運動量確保のために合同体育よりも単学級による授業を増やし、ティームティーチングによる細やかな指導体制を構築した。

2 市全体に実践を広げる取り組み

(1)臼杵市体力向上会議及び授業公開

市内各校に実践を広げることを目的に、小中の体育主任を対象に授業公開等を行い、取り組みを紹介した。

第1回：体力テストの実技講習

第2回：授業公開「食育」

第3回：授業公開「ハンドボール」

第4回：まとめ・重点課題への対策

※臼教研において授業公開「4年 高跳び」を実施

(2)校内体育研修

第1回目は、体力テストの実技講習を行い、指導のコツなどを共通理解した。第2回目は、ボール運動を中心に、ニュースポーツや指導方法の紹介を行った。

(3)幼児期の運動遊びの充実

臼杵幼稚園・・・ボール遊び「的あてごっこ」

野津幼稚園・・・転がり遊び「忍者ごっこ」

2 体育的環境の工夫

(1)体力名人の取り組みと家庭との連携

ふっकिन名人・やわらか名人を目指し継続的に運動に取り組みさせた。低学年は、保護者の協力を得て、家庭と連携して行った。

●工夫したこと（&苦勞した点）

①ICTの活用

体育館用のモニターの設置とipadを活用することで思考を深める手立てとした。

②市浜小スポーツ3大会（リレー会・運動会・長縄）や持久走大会と体育学習をつなげ、学びを活かす場とした。

Check：取組の成果

体力運動能力調査の全国平均到達率が59%から78%へと向上した。年々、数値が上がっており、実技講習や継続した取り組みの成果が表れている。

学校評価アンケートでは、愛好度は84%から88%、「運動のやり方がわかった」と答えた児童は93%から95%となった。つけたい力の明確化、場の工夫などの実践の成果だととらえている。柔らかいボールの使用や個に応じた場を工夫することで苦手意識が軽減した児童が多かった。

Action：今後の課題

①臼杵市全体で走力に課題がある。

②臼杵市は肥満率が高く、生活習慣の改善が必要。

③訪問校によっては体育備品がそろっていない。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

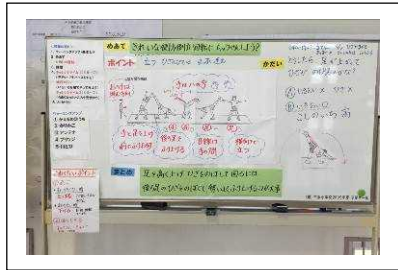
①目的を明確にし、見合い教え合いを行うことにより、結果よりも友だちの良さや頑張りを目が向くようになり、クラスの良好な人間関係を築ききっかけとなった。

②他校種との連携（幼小・小中）。

場の工夫



板書の工夫



思考判断を深める話し合い活動



ルールを工夫したボールゲーム



効果的な用具の活用と紹介



ICTの活用



担任・栄養教諭との食育の公開授業

幼児期の運動遊びの推進



教職員体育研修

